



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月12日

上場会社名 川岸工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5921 URL <http://www.kawagishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金本秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 事務部長 (氏名) 上原篤泰

TEL 04-7143-1331

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	9,214	0.3	1,296	12.9	1,358	12.3	1,082	0.1
28年9月期第2四半期	9,189	5.4	1,148	576.1	1,209	407.0	1,082	588.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	74.32	
28年9月期第2四半期	74.25	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	24,330	19,687	80.9
28年9月期	23,184	18,771	81.0

(参考)自己資本 29年9月期第2四半期 19,687百万円 28年9月期 18,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		16.00	16.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.5	2,270	4.3	2,410	5.8	2,110	2.8	144.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	15,000,000 株	28年9月期	15,000,000 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	430,997 株	28年9月期	429,957 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	14,569,741 株	28年9月期2Q	14,573,808 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況の分析	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期貸借対照表関係)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、世界経済の持ち直しや、為替が想定より円安で推移したこともあり輸出が持ち直していること、年末にかけて進んだ生鮮食品の高騰が一服し消費マインドが持ち直したこと、円安によるインバウンド需要の回復等により改善傾向が続きました。

当業界におきましては、着工が遅れていた首都圏を中心とした大型再開発が盛況となり、受注環境も改善傾向にありましたが、円安と原材料の急激な高騰による資材価格の値上げの動きや、特に大型再開発物件の発注時期のずれ等経営環境の大幅な改善には至りませんでした。

このような環境のなか鋭意受注活動に努力しましたが、鉄骨事業の受注高は、前四半期に引き続き首都圏以外の地域の環境の影響を受けたこともあり、前年同四半期比9.2%減の10,645百万円となりました。また、プレキャストコンクリート事業の受注高は、前四半期に引き続き高層型マンションの構造部材が好調に推移したことにより、同31.0%増の695百万円となりました。

事業全体としましては、鉄骨事業における受注高の減少に伴い、当第2四半期累計期間の受注高は、前年同四半期比7.5%減の11,340百万円となりました。

完成工事高は前年同四半期比0.3%増の9,214百万円となりました。損益面では、高採算の物件への取り組みが継続したことにより、営業利益1,296百万円(前年同四半期比12.9%増)、経常利益1,358百万円(同12.3%増)、四半期純利益1,082百万円(同0.1%増)となりました。

なお、当社は建設業以外の事業を営んでいないため、セグメントに関する業績は記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末の23,184百万円から24,330百万円と1,146百万円増加しました。これは、売上債権、現金預金、機械・運搬具及び投資有価証券等が増加したことによるものであります。

総負債は、その他流動負債のその他(未払消費税)、損害賠償損失引当金及び補償損失引当金等が減少したものの、工事未払金及び賞与引当金等が増加したことにより、229百万円の増加となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により、916百万円の増加となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ362百万円増加し、3,129百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、増加した資金は984百万円(前年同四半期は1,380百万円の増加)となりました。これは、法人税等の支払、売上債権及び未成工事支出金が増加したものの、税引前四半期純利益が1,358百万円、仕入債務の増加及び減価償却費の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、減少した資金は386百万円(前年同四半期は332百万円の増加)となりました。これは、有形固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、減少した資金は235百万円(前年同四半期は619百万円の減少)となりました。これは、配当金の支払による支出等によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、平成29年2月7日に公表しました業績予想から変更していません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,766,321	3,129,318
受取手形・完成工事未収入金	12,566,957	13,007,311
未成工事支出金	1,225,047	1,309,954
材料貯蔵品	87,242	94,095
未収入金	20,958	25,584
その他	339,073	332,779
貸倒引当金	△15,651	△14,466
流動資産合計	16,989,949	17,884,577
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	956,654	957,558
機械・運搬具(純額)	575,156	706,026
土地	3,458,854	3,458,854
その他(純額)	51,862	61,444
有形固定資産合計	5,042,527	5,183,883
無形固定資産	16,605	16,204
投資その他の資産		
投資有価証券	588,835	688,168
その他	580,755	590,440
貸倒引当金	△34,500	△33,000
投資その他の資産合計	1,135,090	1,245,609
固定資産合計	6,194,223	6,445,698
資産合計	23,184,173	24,330,275
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,768,652	3,055,618
未払法人税等	256,742	274,391
未成工事受入金	1,559	31,618
補償損失引当金	22,637	—
損害賠償損失引当金	135,000	118,900
賞与引当金	95,200	267,643
その他	604,978	338,904
流動負債合計	3,884,770	4,087,075

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
固定負債		
退職給付引当金	202,840	200,599
役員退職慰労引当金	128,243	130,992
その他	196,895	223,997
固定負債合計	527,979	555,590
負債合計	4,412,750	4,642,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	955,491	955,491
資本剰余金	572,129	572,129
利益剰余金	17,197,842	18,047,571
自己株式	△135,650	△136,499
株主資本合計	18,589,812	19,438,692
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	181,610	248,916
評価・換算差額等合計	181,610	248,916
純資産合計	18,771,422	19,687,609
負債純資産合計	23,184,173	24,330,275

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
完成工事高	9,189,499	9,214,255
完成工事原価	7,726,713	7,586,702
完成工事総利益	1,462,785	1,627,553
販売費及び一般管理費		
役員報酬	36,378	43,784
従業員給料手当	140,365	148,048
退職給付費用	6,261	8,083
役員退職慰労引当金繰入額	4,179	4,383
法定福利費	23,195	24,855
福利厚生費	3,100	2,800
修繕維持費	2,522	4,878
事務用品費	3,397	3,347
通信交通費	13,799	12,878
動力用水光熱費	2,818	1,825
調査研究費	2,254	1,267
広告宣伝費	—	1,314
交際費	9,440	7,990
地代家賃	9,981	9,990
減価償却費	5,949	6,090
租税公課	14,632	15,223
保険料	2,042	2,185
雑費	33,693	32,152
販売費及び一般管理費合計	314,011	331,103
営業利益	1,148,774	1,296,450
営業外収益		
受取利息	41	15
受取配当金	6,133	6,059
不動産賃貸料	40,890	39,897
鉄屑売却益	8,642	26,425
貸倒引当金戻入額	4,217	2,685
その他	16,959	13,490
営業外収益合計	76,884	88,574
営業外費用		
支払利息	2,573	—
賃貸費用	5,018	4,966
遊休資産管理費	1,795	1,936
固定資産解体費用	1,550	9,515
環境対策費	1,071	5,645
その他	3,973	4,933
営業外費用合計	15,982	26,998
経常利益	1,209,676	1,358,026
特別利益		
固定資産売却益	88,195	—
特別利益合計	88,195	—
特別損失		
補償損失引当金繰入額	45,226	—
特別損失合計	45,226	—
税引前四半期純利益	1,252,645	1,358,026
法人税等	170,487	275,176
四半期純利益	1,082,157	1,082,849

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,252,645	1,358,026
減価償却費	95,429	126,660
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,217	△2,685
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,904	△2,240
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,179	2,749
受取利息及び受取配当金	△6,175	△6,074
支払利息	2,573	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△88,195	—
売上債権の増減額(△は増加)	162,958	△440,353
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△11,239	△84,906
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	△7,722	△6,852
仕入債務の増減額(△は減少)	△273,211	286,965
未成工事受入金の増減額(△は減少)	—	30,058
その他	301,829	△40,062
小計	1,422,950	1,221,284
利息及び配当金の受取額	6,175	6,074
利息の支払額	△2,300	—
法人税等の支払額	△46,161	△242,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,380,664	984,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123,336	△383,722
有形固定資産の売却による収入	458,466	—
無形固定資産の取得による支出	△2,057	△1,630
投資有価証券の取得による支出	△2,027	△2,559
貸付けによる支出	△360	△240
貸付金の回収による収入	1,810	1,950
その他	△256	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	332,240	△386,405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	870,000	—
短期借入金の返済による支出	△1,370,000	—
自己株式の取得による支出	△1,011	△848
配当金の支払額	△116,212	△232,156
その他	△2,559	△2,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△619,782	△235,370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,093,122	362,996
現金及び現金同等物の期首残高	924,328	2,766,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,017,450	3,129,318

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期貸借対照表関係)

偶発債務

(高層分譲住宅の外壁PCタイトルの剥落について)

当社が過去に製作しました高層分譲住宅の一部外壁タイトルの下地コンクリートからタイルが剥落したため、補修費用等の発生が見込まれ、当社の業績に影響を与える可能性があります。現在、補修方法等について協議中のため不確定要素が多く、現時点でその影響額を合理的に見積ることは困難であります。

(厚生年金基金の解散に伴う退職給付制度間の移行について)

当社が加入する全国鐵構工業厚生年金基金は、平成29年3月21日をもって厚生労働大臣の認可を受け解散いたしました。当該基金の解散による追加負担額の発生は見込まれておりません。

当該基金の解散に伴い、当社は既存の確定給付企業年金制度へ移行いたしました。基金から移換される分配金と退職給付債務との間に差額が生じ、損失が見込まれます。

なお、現時点では分配金の額は未定であり、損失額について合理的に見積ることは困難であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

製品別	前第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)			当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)			前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		
	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	30,202	8,947,675	97.2	29,196	8,805,192	95.1	60,509	17,730,913	96.4
プレキャスト コンクリート	2,457	256,814	2.8	4,905	455,336	4.9	6,028	659,626	3.6
合計	—	9,204,489	100.0	—	9,260,528	100.0	—	18,390,540	100.0

② 受注状況

イ. 受注高

製品別	前第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)			当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)			前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		
	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	40,880	11,729,190	95.7	36,318	10,645,667	93.9	63,673	18,911,885	94.2
プレキャスト コンクリート	3,849	530,708	4.3	7,229	695,304	6.1	11,276	1,156,403	5.8
合計	—	12,259,898	100.0	—	11,340,972	100.0	—	20,068,289	100.0

ロ. 受注残高

製品別	前第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)			当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)			前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		
	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	51,449	14,041,762	97.0	51,403	14,365,708	94.3	43,731	12,481,698	95.2
プレキャスト コンクリート	2,955	428,029	3.0	9,029	867,315	5.7	6,707	624,608	4.8
合計	—	14,469,791	100.0	—	15,233,023	100.0	—	13,106,306	100.0

③ 販売実績

製品別	前第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)			当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)			前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		
	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 ($\text{t} \cdot \text{m}^3$)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	30,219	8,878,371	96.6	28,646	8,761,657	95.1	60,731	17,621,131	96.0
プレキャスト コンクリート	2,838	311,127	3.4	4,906	452,597	4.9	6,513	740,243	4.0
合計	—	9,189,499	100.0	—	9,214,255	100.0	—	18,361,375	100.0